

2006年1月31日

No.51

又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 谷岸 孝士

富山市下新町 4-27

TEL 076-441-0800

HP: www.s-mataichi.com

又市幹事長、まず「20兆円の活用」答弁引き出す 剰余・積立金だらけの「特別会計」、真の改革へ



164通常国会の参議院質疑の皮切り、1月25日の本会議で又市幹事長が質問に立った。又市幹事長は「年間205兆円の特別会計」問題で3年間に35回にわたって追及を積み上げてきた。

この日はまず、参議院が「内閣に対する警告決議」で、特別会計について「透明性の欠如、不要不急の事業、多額の不用および剰余金、予算と執行の乖離、法人等への支出（焦げ付き）等は看過できない」と警告したのを踏まえ、「2006年度予算案にこの警告をどう反映したか国民への説明を」と谷垣財務大臣らに求めた。

又市議員

①2006年度予算で増税や、高齢者医療の負担増や地方交付税の切り下げを言う前に、特別会計の貯め込み財源を縮減し、一般会計に回収せよ。特別会計を口実とした各省庁による巨額の財源囲い込みは目に余る。財政制度審議会も「特別会計個々でなく制度全体を白紙から見直せ、また国民の立場に立て」と提言した。まず、特別会計予算から除外されている「積立金および資金」（財務省の財政融資資金特別会計の389兆円、外国為替特別会計の110兆円、原発偏重で行詰まっている電源開発特別会計の881億円など）を一般会計へ還元せよ。

谷垣財相

2006年度予算で財政融資資金の積立金12兆円など計13.8兆円を取崩し活用する。【注】初めての取崩し。金額はまだ小さいが又市メニューに沿うもの。

又市議員

②道路整備など公共事業5つの特別会計は、税から多額の繰入をしているにもかかわらず、残額が出ても一般会計に戻さず、例えば道路特会（2004年度決算）では繰越額と不用額を併せ1兆0926億円＝予算の23%も余ったのを囲い込み、戦前の「臨時軍事費」と似た扱いだ。これら5つの特別会計を廃止し、事業は一般会計で透明性をもって経理すべきだ。

谷垣財相

上記5特別会計を2008年度に統合する。【注】公共事業の特別会計は橋梁談合などの天下りと税金浪費の温床になっている。

社民党案なら6.5兆円が活用できる

…剰余・積立金は増税・医療負担増の回避に使い

又市議員

③その他の特別会計も、利権やムダ、税金からの繰入を減らし、できるだけ一般会計で透明な経理をすべきだ。こうした真の改革により、社民党なら今後10年間、毎年6兆5,000億円を浮かせ、一般会計に繰入れて、増税や高齢者医療の負担増を避けることができる。私は総理に3回にわたって、「本当に特別会計を改革する気なら、数値目標を示せ」と提案してきた。小泉総理の予算編成は今回が最後と聞く。偽装ではなく、真に国民のための改革として、特別会計改革の数値目標を明示せよ。

小泉首相

5年間で20兆円を財政再建に活用する。【注】谷垣答弁の約14兆円を除けばあと6兆円余で少ない。借金払いを優先するより、増税や福祉切下げの回避を先行すべき。